

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・学年ごとに鑑賞の時間をつくりものを観る力を培うことが出来た。

(2) 課題

- ・作品製作に個人差が大きく出てしまい、完成まで至らない生徒が見られた。
- ・行事等で授業カット数が多く、計画的に授業を進めることが困難だった。

2 大田区学習効果測定の結果分析

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して作品例を提示しながらいねいに説明を行う。 ・提示された時間内に作品を完成、提出出来るように計画的に製作させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチを多く出させ、一つにこだわらない自由な発想をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な技術を習得させる。 ・着彩等の不得手意識を克服させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・名作と言われる古今東西の作品を多く示し、特に夏季休業中の課題として美術館に行かせ、本物に触れる機会を設ける。

(1) 第2学年

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して作品例を提示しながらいねいに説明を行う。 ・計画性をもたせ、時間内に作品を完成に製作させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチを多く出させ、一つにこだわらない自由な発想をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な技術を活用し、さらに自分の作品製作に必要な技法を習得させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・名作と言われる古今東西の作品を多く示し、特に夏季休業中の課題として美術館に行かせ、本物に触れる機会を設ける。

(1) 第3学年

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して作品例を提示しながらいねいに説明を行う。 ・自主的に課題に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経験したこと、学んだこと、考えたことを基に、独自の発想で自己を見つめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する製作の発想にふさわしい技法を自ら習得させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品が作られた社会背景や作家の生涯を知ることと美術(描く)ことの大切さを理解させる。